



令和元年度「近代測量150年」及び「測量の日」関連事業 電子基準点設置中学校での「測量教室体験学習」の実施報告

(一社)石川県測量設計業協会
測量技術委員会

「近代測量 150 年」としての節目である今年、これまでの歩みを振り返って測量・地図作成の果たした役割や重要性について理解を深めていただくと同時に、ひとりでも多くの方が地図に親しみ、測量を知っていただけたら、そんな願いをこめて制定された「測量の日」に関連して、電子基準点が設置されている中学校での「測量教室体験学習」を実施しました。

1. 日 時 令和元年 7 月 5 日 (金) 13 時 20 分～15 時 10 分(5 限目、6 限目)

2. 場 所 宝達志水町立 宝達中学校 1 階ランチルーム及びグランド
対象：1 年生 91 名 (30 人+30 人+31 人 3 クラス)

3. 内 容 進行役：原委員

13：20～13：25 はじめに 浅野先生、東委員長の挨拶

13：25～14：10 (5 限目)「測量教室」授業講師：小木委員

「近代測量 150 年・測量の経緯」測量の歴史・地図の作り方・経緯度・高さの基準・地殻変動等についての授業

14：20～15：10 (6 限目)「体験学習」総括：西本委員 他に生徒指導補助 9 名
ドローンによる記念撮影(『電子基準点』『宝』人文字を上空から撮影)
「体験学習」自分歩測からストローと分度器を使い校舎の高さを求めた。
「学習の感想」生徒代表 2 名及び浅野先生(1 年担任)から受ける。

4. 測量教室体験学習の状況



浅野先生の「はじめに」



東委員長の挨拶



小木委員の「地図と測量」講義



小木委員の「近代測量 150年」講義



グラウンドでの「体験学習」歩測



グラウンドでの「体験学習」高さ



グラウンドでの「体験学習」



生徒代表からの感想発表
「伊能忠敬の大変さがわかった。」
「測量がないと道路が出来ないことが分かり、
達成感や責任感があると思った。」



担当教諭からの感想



UAVによる「電子基準点」の撮影



UAVによる「宝」の人文字で記念撮影